

# センターだより

NO. 5

平成21(2009)年9月8日発行  
吹田市立教育センター  
大阪府吹田市出口町2-1  
TEL 06-6388-1455  
FAX 06-6337-5412  
メール [s-educ@suita.ed.jp](mailto:s-educ@suita.ed.jp)

不登校児童・生徒支援活動

## 「光の森」活動から・・・

### 「光の森」の活動場所がかわりました

昨年12月に野外活動センターの整備再建に伴い、活動場所を一時竹見台多目的施設へ移転しておりましたが、野外活動センターが「自然体験交流センター」としてリニューアルされる中、この7月に再び北千里にもどってきました。ただ、従来使用させてもらっていた「青年の家」が取り壊されましたので、元野外活動センターの事務所を活動場所にお借りして、内部に多少手を入れて活動しています。以前に比べて手狭ですが、周りの豊かな緑は格別の癒し空間です。

現在「光の森」では体験・訪問を含め、21名の児童生徒の支援をさせて頂いています。この夏休み中に各自の在籍校を訪問させて頂き、担任・管理職の先生方と懇談させて頂きました。担任の先生方には家庭訪問等、様々取り組んで頂いていても、なかなか学校へもどれない現状があります。今後、一層の学校・保護者との連携を工夫し、子どもたちの自信を高め、登校の機会が増えていけるように努力しなければと思っているところです。



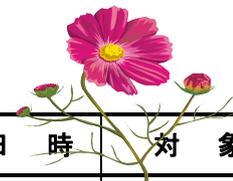
積極的参加・報告  
ありがとうございました！

## 吹田市教育研究大会

本年度の教育研究大会は、当初予定より日程変更となり、8月21日午後から分科会のみで開催となりましたが、**1258名**の教職員の方々に参加いただくことができました。

5分科会それぞれに充実した内容の報告・講演等をいただくことができました。ご協力ありがとうございました。研究大会の報告につきましては、9月下旬にまたお知らせさせていただきます。

# 9・10月教職員研修予定



講座名	番号	研修テーマ・講師名・概要等	会場	日時	対象
ライフステージにあった研修	初任者研修 フレッシュ研修	22 「初任者による代表授業」(中学校) 授業者 第五中学校 教諭 山本 直登	第五中学校	10月27日 (火)午後	中学校初任者教員 中学校新規任用講師
		20 「初任者による代表授業」(小学校①③班) 授業者 山田第五小学校 教諭 植田 陽介	山田第五小学校	10月28日 (水)午後	小学校初任者教員 ①③班 小学校新規任用講師
		21 「初任者による代表授業」(小学校②④班) 授業者 千里新田小学校 教諭 住友 としみ	千里新田小学校	11月5日 (木)午後	小学校初任者教員 ②④班 小学校新規任用講師
	ステップアップ 選択研修	50 吹田市難聴学級センター校について学ぶ 「難聴生徒への指導の実際・情報保障について学ぶ」 ※授業の様子をビデオで紹介していただきながら学びます。 講師 第六中学校 指導教諭 永井 隆	吹田第六中学校 わかたけ教室 (B棟 1階)	10月23日 (金) 16:00～	ステップアップ研修Ⅰ ステップアップ研修Ⅱ 受講者
課題別研修	情報教育	79 「校内LANを利用した授業づくり」 ー茨木市における取組をとおしてー 講師 茨木市教育研究所 向井啓氏 指導主事	教育センター 視聴覚室 (2階)	10月26日 (月) 16:00～	小・中学校 教職員 情報教育推進委員
	学力向上②	72 「確かな学びの力をつけるための授業改善」 ー小学校算数・中学校数学を中心としてー 府教育センター指導主事 松村 直俊・一柳 康人	教育センター 視聴覚室 (2階)	9月11日 (金) 16:00～	教職員 少人数担当者
	危機管理研修 ② 養護教諭研修	61 「新型インフルエンザ基礎知識と学校園における注意事項」 ※新型インフルエンザ(A/H1N1 A/H5N5)について 講師 大阪大学付属病院感染制御部長 朝野 和典教授	保健センター 研修室 3階)	9月15日 (火) 15:30～	教職員 養護教諭
特別支援教育研修	通常の学級 支援研修	216 特別支援教育から見た授業のルールづくり 講師 青山台小学校 指導教諭 川向 博子	教育センター 視聴覚室 (2階)	10月19日 (月) 16:00～	教職員
	事例研修	224 小学校低学年算数文章題検査の実施と指導 高野台小学校 教諭 入口 真知子	教育センター 研修室 (2階)	9月14日 (月) 16:00～	教職員
幼稚園教育研修	122 「幼稚園から小学校へ」～学びの連続性について～ 講師 京都ノートルダム女子大学教授 奥山 登美子氏	吹田第一幼稚園 遊戯室	9月11日 (金) 15:30～	教職員 (幼稚園・小学校)	
教科領域別研修	小学校 英語活動研修	87 「英語活動指導のための教師の英語学習法」 講師 関西大学 外国語学部副学部長 教授 竹内 理氏 ※小学校英語担当者会と兼ねる	教育センター 視聴覚室 (2階)	9月15日(火) 16:00～17:15	小学校教職員 中学校英語科教員
		95 「『英語ノート1』のアクティビティ」 講師 山田第五小学校 教諭 篠田 美千子 ※小学校英語担当者会と兼ねる	教育センター 視聴覚室 (2階)	10月13日(火) 16:00～17:15	

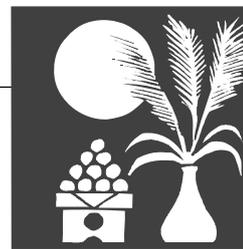
※各講座の詳細は、各学校ごとに送付します実施要項をご覧ください。

## 新教育課程に向けた学校教育 No. 4

今月は、小・中学校共通「特別活動」の改訂ポイントです。

- ◆よりよい人間関係を築く力、集団の一員としてよりよい生活づくりに参画する態度の育成を特に重視
- ◆体験活動や、話し合い活動、多様な異年齢集団による活動を一層充実
- ◆発達の段階に応じ、体験活動を推進  
(小学校:自然の中での集団宿泊活動 中学校:職場体験活動)

－体験を通して気づいたことなどを振り返り、まとめたり  
発表し合ったりする言語活動を充実させましょう－



# 夏季(7/21～8/31)研修報告

多数の教職員の方々の参加  
ありがとうございました！

今年の夏の研修は、ライフステージにあった研修 18 講座、教育課題別研修 11 講座、教科・領域研修 7 講座、特別支援教育研修 2 講座、専門職等研修 1 講座、情報教育実技研修 19 講座の計 58 講座を実施し、のべ 1736 人の方々に参加いただきました。

夏の研修で学ばれたことを、是非 2 学期以降各学校園で活かしてください。  
研修の様子を一部紹介いたします。

## 教育課題別研修

吹田市の教育を考えるフォーラム 「**新教育課程に向けて今、...**」(7月24日 関西大学にて)

前半は、新学習指導要領作成に関わられた文部科学省の合田先生をお招きしての講演。学習指導要領改定に至る経緯・背景等について、新教育課程で求められる質の高い学力・知識を身につけるための授業改善の方向性についてのお話をいただきました。さらに、学校段階間の縦のつながり、教科等間の整合性についても触れられました。後半のパネルディスカッションでは、合田先生のご講演を踏まえ、保護者・学校長・大学・教育委員会という様々の立場からご意見をいただきました。

<感想> 指導要領改定に伴う背景や流れについてお話いただき、よく耳にするキーワードが立体的に見えてきた気がします。パネルでは、今自分たちが直面している課題について代弁していただき、色々考えることができました。保護者の立場での率直な願いを聞くことができ、これからの教育活動に生かしていければと思います。

## 教育相談 ① ② (8月10日実施)

①は「こもる子、あれる子、身体に出す子—子どもの心の受け止めを教育相談から考える—」というテーマで、教育センターの竹内相談員からの講演でした。人の気持ちが育つ上で大切なものを話し合った後、こもる子、あれる子、身体に出す子の心の状態、周囲の大人の対応について話がありました。続いての教育相談②は事例研修でした。小学校4年女子(登校渋り・母親と離れにくい)、中学校3年男子(盗癖・不登校)の事例です。参加者でワークをし、見立て、対応方法を話し合いました。

## 特別支援教育研修

### 通常の学級支援研修214

「**校内委員会の進め方**」(8月3日実施)

校内委員会について、①参加者、②話し合いの手順③話し合いのポイント、④記録の保存・管理、⑤巡回相談の活用の5点について説明がありました。その後、通級指導教室の担当の先生方による、実演(!)がありました。昨年の教育研究大会のシナリオをさらにバージョンアップさせたものです。

「事例研究」は、教師の苦手なところですが、  
今後も検討していきましょう。

### 通常の学級支援研修215

「**個別の指導計画の書き方**」(8月3日実施)

「あなたが行っている子ども理解以上の個別の指導計画はつくれません」というコンセプトで研修しました。したがって、書式を埋めていく方式でなく、個別の課題から、子ども理解を行い、手だてをワークで考えました。子ども理解がしっかりとすると、手だても考えられます。手だてを作るときワークは、更に多様化するつもりです。

## 情報教育研修

### 「ICT活用と学力向上」～和歌山市Wプロジェクトの取組～

7月30日実施(研修番号323)



和歌山市で、教育の情報化の環として単に基礎学力の向上を目指すだけでなく、各教科等での活用・探求学習におけるICTの活用やその効果についても視野に入れた研究(Wプロジェクト)の概念とデータを基にした成果を 前半講義いただきました。後半は、実際和歌山市で導入されているタブレットPCを参加されている先生方に触っていただき、教育現場でどのように使われていたかを体験していただきました。

<感想> □他市で取り組んでいらっしゃる話を聞く事ができ、視野を広げることができました。  
□効果的に使用する機器を選択することにより、子どもの学力向上につながる事がデータをもって理解できた。  
□これからの教員にもICTは不可欠だと思うので、上手に活用する能力が教員にも不可欠だと思いました。和歌山市の取組が夢の様にも見えたが、すぐにこのような学習へと変わっていくのでは…とも思いました。

## 初任者研修 自然観察・環境学習フィールド学習

8月19日に、万博記念公園・自然観察学習館にて、「自然観察」・「環境学習体験プログラム」・「工作教室」および「集団づくりワークショップ」を行いました。前半の自然観察・環境学習の講師は「自立した森再生センター」職員と「ソラードの会」の皆さんに、後半のワークショップの講師は2年目の片山小・並川先生、吹一小・井上先生にいただきました。自然豊かな万博公園で、身近な動植物についての様々な知識を得たり、「緑の循環システム」について実際に体験したり、自然の素材を生かした工作を楽しんだりできました。

ワークショップでは、楽しい雰囲気の中、ゲームやフォークダンスでお互いに触れ合う中で、短時間に親睦を深めていけました。

<感想> 実体験をとおして学ぶこと、環境教育の大切さを実感できました。



フォークダンス

## ステップアップ研修 I

### 授業づくり・学級づくり実践交流 (7月31日午後)

前半は、コースに別れ「小学校図工科の実技研修」と「子ども理解・国語科の授業づくり」のお話を聞きました。



図工科での実技研修

今年初めて実施した実技研修では、青山台小学校指導教諭の川向先生に講師をお願いし、用具の使い方の基礎基本のお話から実際の教材づくりの実技研修を行いました。参加者の皆さんはとても真剣に取り組まれ、自分の作品ができあがるととてもうれしそうな表情をされていました。「子ども理解」については、千里新田小学校指導教諭の江下先生から経験談を踏まえたお話を聞きました。

後半は、受講者それぞれが実践を持ち寄り、その報告・交流を通して高め合いながら学ぶ研修を実施しました。

## ヤングリーダー研修・学校パワーアップ研修 「最近の非行臨床からみえてくること」(8月3日実施)

家庭裁判所調査官として、非行少年に関わってこられました花園大学カウンセリングセンター長の橋本和明先生をお招きし、現代的非行の特徴、虐待と非行の関係、発達障害と非行の関係、子どもたちの見方、そして早期に食い止めるための対応について等、具体的な事例を通してのお話を聞き学びました。

<感想より> 非行を事象でとらえるのではなく、その根にあるものを知り、考えていくことが大切であるということに改めて感じた。実際に非行に至る前にストレスを軽減するなど、どのように支えていけばよいか、それぞれの学校に求められているのではないかと。子どものコミュニケーション力の不足が新たな非行犯罪につながっていることを知った。改めて犯罪や非行という視点から見てもコミュニケーション力の大切さを感じた。